

慢性肝疾患を合併した先天性血液凝固因子異常症患者における肝細胞癌の治療経過と臨床転帰の検討に関する情報公開

1. 研究の対象

2005年1月から2020年12月までに当院消化器内科を受診し、臨床経過を確認可能であった血友病、von Willebrand病、無ガンマグロブリン血症、低ガンマグロブリン血症などの先天性血液凝固因子異常症患者さんと慢性肝疾患、肝硬変、肝細胞癌患者さん

2. 研究目的・方法・研究期間

2005年1月から2020年12月までの期間に当院消化器内科を受診し、臨床経過を確認可能であった先天性血液凝固因子異常症患者さんと慢性肝疾患患者さん、肝細胞癌患者さんについて電子カルテよりデータを収集し、先天性血液凝固因子異常症患者さんと非先天性血液凝固因子異常症患者さんの間で治療効果と臨床転帰を比較検討します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：

1. 患者背景：年齢、性別、PS、既往歴、併存疾患、併用薬、先天性血液凝固因子異常症の有無、凝固異常の重症度、凝固異常の治療内容、HBV、HCV、HIV感染の有無、肝疾患の有無、肝疾患の程度、癌のstage、癌の治療歴
2. 経過：転帰（生存率や死亡までの期間、発癌患者の場合発癌率、癌再発までの期間）、抗ウイルス治療の有無、抗ウイルス治療の内容、発癌患者の場合癌の治療内容、治療に伴う合併症の有無、治療後の経過
3. 血算：白血球、赤血球、ヘモグロビン、ヘマトクリット、血小板、好中球、リンパ球、好酸球
4. 生化学：総タンパク、アルブミン、グルコース、尿素窒素、クレアチニン、尿酸、ナトリウム、クロール、カリウム、総カルシウム、T-Bil、D-Bil、AST、ALT、 γ GTP、ALP、アミラーゼ、クレアチニンキナーゼ、CRP、NH₃、ヒアルロン酸、4型コラーゲン、M2BPGi、AFP、PIVKA-II
5. 凝固：PT(INR)、APTT
6. 甲状腺ホルモン：T3、T4、TSH
7. 自己免疫抗体：抗核抗体、抗ミトコンドリア抗体、抗サイログロブリン抗体など

8. 腹部超音波検査

9. 胸腹部 CT、MRI、PET-CT

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ただし、研究結果を公表した後は、お申し出頂いた患者さんのデータを除去できない場合があります。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学大学院 医学系研究科 消化器内科学

〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地

TEL： 052-744-2169

FAX： 052-744-2178

名古屋大学大学院 医学系研究科 消化器内科学 犬飼 庸介 今井 則博

研究責任者：

名古屋大学大学院 医学系研究科 消化器内科学 准教授 石上 雅敏